

学生会 学生募り岩手訪問

岡山同友会

ボランティア参加 「震災直視して」
ツアー来月計画

岡山経済同友会(岡)る。

山市北区厚生町)は8月24～28日の5日間、岡山県内の大学生を集めて東日本大震災の被災地を訪問し、ボランティア活動に参加するツアーを行う。震災からの復興に協力するとともに、学生に被災地の現状を知ってもらうのが狙い。

同友会教育問題委員会(原憲一委員長)が中心になり企画した。計画では、24日午後にはバスで岡山市を出発し、25日朝に国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市北区伊福町)が支援を行っている岩手県大槌町に着。27日までAMDAと連携して、炊き出しの手伝いや清掃作業などに携わる。被災者との交流する機会も設ける予定。滞在中はホテルで宿泊するが、行き帰りは車中泊とな

県内の大学で構成する大学コンソーシアム岡山が窓口となり、各大学を通じて学生30～40人を募集する。同友会のメンバーも10人程度が参加する予定。学生の参加費は1万円(車中2泊の間の食費は自己負担)。8月7日に事前研修を行う。

原委員長は「今後の復興を担う若者に被災地の現状を直視し、震災を自分の問題としてとらえ、防災についても考える契機にしても構いたい」と話している。

問い合わせは岡山経済同友会(086-222-0051)。

(田中泰)